



テクニカルニュース  
BCN-E2113-0049-A

[ 1 / 7 ]

## iQ Monozukuri 回転機振動診断 解像度がSVGAより大きいGOTへの適用手順

■発行

2022年2月

■適用機種

AP10-VID001AA-MA, AP10-VID001AA-MB, AP10-VID001AA-MC, AP10-VID001AA-MD, AP10-VID001AA-ME, AP10-VID001AA-MF

---

三菱電機FAアプリケーションパッケージに、格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
本テクニカルニュースでは、回転機振動診断アプリケーションパッケージの、解像度がSVGAより大きいGOTへの適用手順についてご紹介いたします。

### 目次

1 変更手順.....	2
2 流用するウィンドウ画面一覧.....	5
改訂履歴.....	6
商標.....	6

BCN-E2113-0049-A

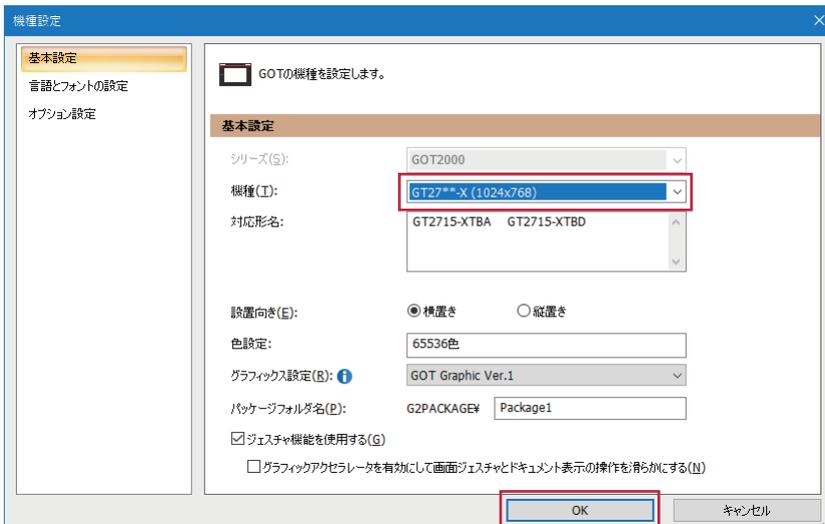
## 1 変更手順

回転機振動診断アプリケーションパッケージで使用するGOTを、SVGA(800×600ドット)より大きい解像度の機種に変更する場合、ベース画面とウィンドウ画面のサイズは、GT Designer3の機種設定にて自動拡大できます。

ただし、一部のウィンドウ画面はサイズを拡大する必要がないため、下記の手順で機種を変更してください。

(本テクニカルニュースでは、GOTの機種をGT2712(SVGA)からGT2715(XGA)に変更する例を示します)

1. iQ Monozukuri 回転機振動診断用GOTプロジェクトファイルをGT Designer3で開き、メニューの[共通の設定]→[GOT機種設定]で、"機種設定"ダイアログを開きます。
2. "機種設定"ダイアログの"基本設定"の"機種"を、"GT27\*\*-S(800×600)"から"GT27\*\*-X(1024×768)"に変更し、[OK]ボタンをクリックします。



3. 表示されたダイアログの、"ウィンドウ画面を対象とする"と"枠幅固定編集モードで拡大縮小する"にチェックを入れ、[OK]ボタンをクリックします。(ベース画面とウィンドウ画面のサイズを自動拡大します)



4. プロジェクト名を変更し保存します。(ここでは"ProjectA"とします)
5. 再度、iQ Monozukuri 回転機振動診断用GOTプロジェクトファイルをGT Designer3で開き、手順1～2を行います。

BCN-E2113-0049-A

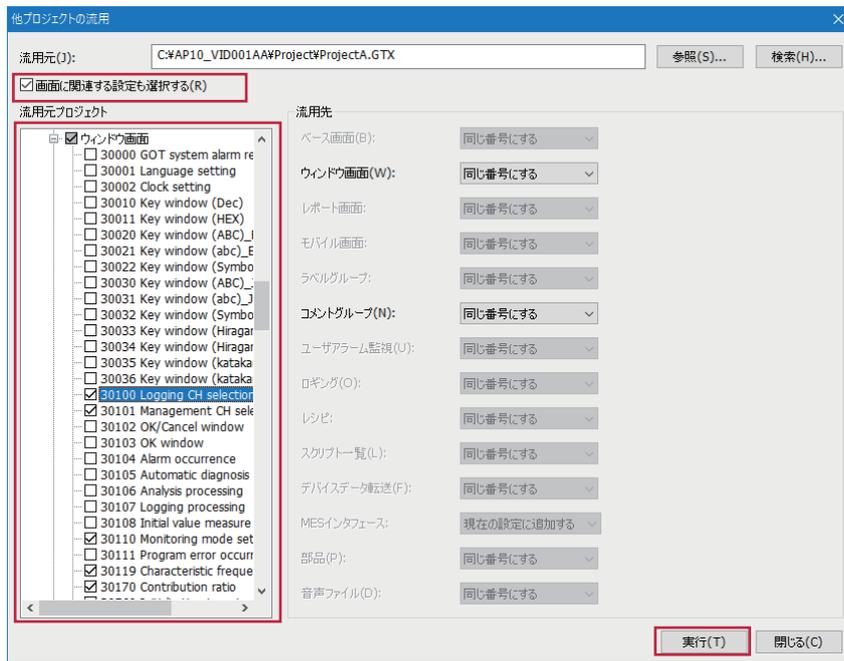
- 表示されたダイアログの, "ウィンドウ画面を対象とする"と"枠幅固定編集モードで拡大縮小する"のチェックをはずし, [OK]ボタンをクリックします。(ベース画面のみサイズを自動拡大します)



- プロジェクト名を変更し保存します。(ここでは"ProjectB"とします)
- GT Designer3で"ProjectB"を開き, メニューの[プロジェクト]→[他プロジェクトの流用]で, "他プロジェクトの流用"ダイアログを開きます。
- "流用元"に"ProjectA"を選択します。
- "流用元プロジェクト"のツリーに表示されているウィンドウ画面の中から, 流用するウィンドウ画面No.にチェックを入れ, [実行]ボタンをクリックします。(流用するウィンドウ画面で既存のウィンドウ画面を上書きします)

流用するウィンドウの一覧は下記を参照してください。

5ページ 流用するウィンドウ画面一覧



**注意事項**

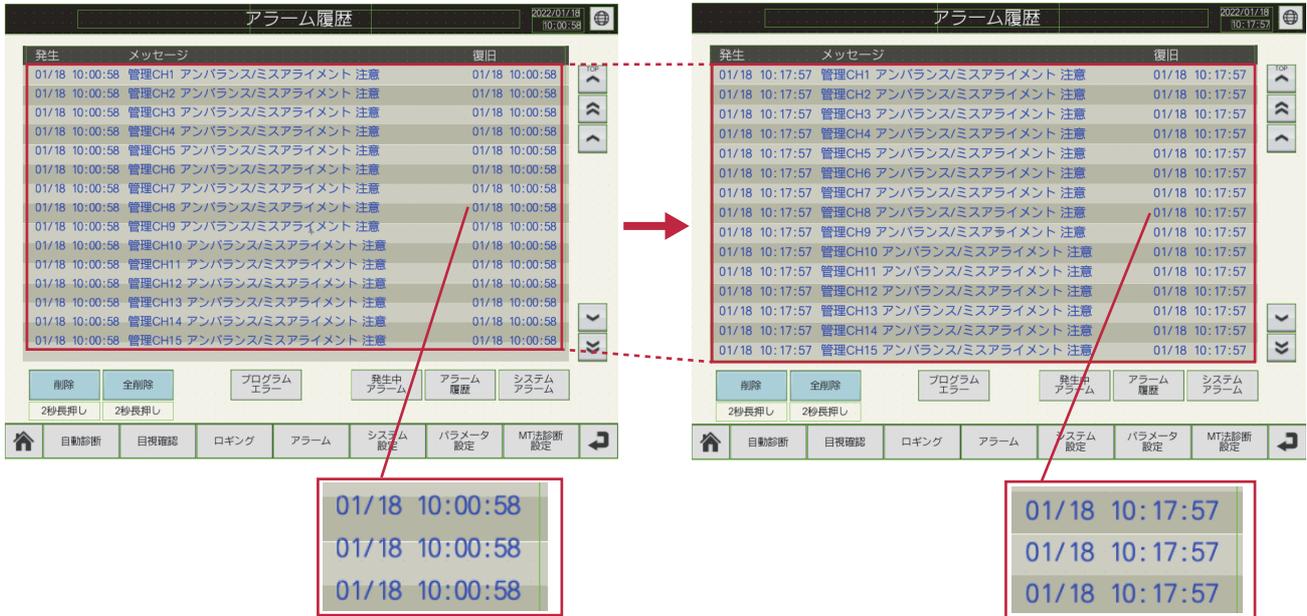
チェックを入れたウィンドウ画面に関連するコメント, レシピおよびスクリプトも流用するため, "画面に関連する設定も選択する"のチェックは, はずさないでください。

**11.** 自動拡大によりレイアウトのバランスが崩れた箇所を，手で調整します。

**例**

アラーム表示オブジェクトの高さ調整と，各行の文字列に対する背景図形の位置調整を実施。

(下記の画面は，文字列の表示言語を日本語に変更しています)



**12.** プロジェクト名を変更し保存します。

## 2 流用するウィンドウ画面一覧

流用するウィンドウ画面No.の一覧です。

流用するウィンドウ画面の数は回転機振動診断のバージョンにより異なります。

ウィンドウ画面No.	名称	回転機振動診断アプリケーションパッケージのバージョン		
		1.002C	1.003D	1.004E
30100	Logging CH selection	○	○	○
30101	Management CH selection(common)	○	○	○
30110	Monitoring mode setting window	○	○	○
30119	Characteristic frequency	○	○	○
30170	Contribution ratio	○	○	○
30560	Initialization target selection	—	—	○
30561	Initialization procedure(SRAM)	—	—	○
30610	Digital filter details	○	○	○
30651	Sample data group management	○	○	○
30652	Correlation matrix display	○	○	○
30710	Item setting(Acceleration FFT)-I	○	○	○
30711	Item setting(Velocity FFT)-I	○	○	○
30750	Threshold value setting(MT)	○	○	○
30800	Specification value setting	—	—	○
30801	Direct input	—	—	○
30802	Ball bearing specification	—	—	○
30803	Mitsubishi motor specification	—	—	○
30804	DB data version	—	—	○
30805	DB difference notification	—	—	○
30810	Selection target setting	—	—	○
30812	Ball bearing number setting	—	—	○
30813	Details of ball bearing number	—	—	○
30814	Ball bearing type check	—	—	○
30815	Type of Mitsubishi motor	—	—	○
31010	Monitoring frequency	○	○	○
32765	License key authentication	○	○	○

**改訂履歴**

副番	発行年月	改訂内容
A	2022年2月	初版

**商標**

本文中における会社名，システム名，製品名などは，一般に各社の登録商標または商標です。  
本文中で，商標記号(™，®)は明記していない場合があります。

製品の購入のご検討やご相談はこちらからお問い合わせください。

### 三菱電機株式会社

本社機器営業部	〒110-0016	東京都台東区台東1-30-7 (秋葉原アイマークビル)	(03) 5812-1470
北海道支社	〒060-8693	札幌市中央区北二条西4-1 (北海道ビル)	(011) 212-3794
東北支社	〒980-0013	仙台市青葉区花京院1-1-20 (花京院スクエア)	(022) 216-4546
関東支社	〒330-6034	さいたま市中央区新都心11-2 (明治安田生命さいたま新都心ビル)	(048) 600-5835
新潟支店	〒950-8504	新潟市中央区東大通1-4-1 (マルタケビル4F)	(025) 241-7227
神奈川支社	〒220-8118	横浜市西区みなとみらい2-2-1 (横浜ランドマークタワー)	(045) 224-2624
北陸支社	〒920-0031	金沢市広岡3-1-1 (金沢パークビル)	(076) 233-5502
中部支社	〒450-6423	名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古屋ビルヂング)	(052) 565-3385
豊田支店	〒471-0034	豊田市小坂本町1-5-10 (矢作豊田ビル)	(0565) 34-4112
関西支社	〒530-8206	大阪市北区大深町4-20 (グランフロント大阪 タワーA)	(06) 6486-4125
中国支社	〒730-8657	広島市中区中町7-32 (ニッセイ広島ビル)	(082) 248-5348
四国支社	〒760-8654	高松市寿町1-1-8 (日本生命高松駅前ビル)	(087) 825-0055
九州支社	〒810-8686	福岡市中央区天神2-12-1 (天神ビル)	(092) 721-2247

#### ⚠️ 安全に関するご注意

本テクニカルニュースに記載された製品を正しくお使いいただくためご使用の前に必ず「マニュアル」をよくお読みください。